グリーンテクノバンク・アグリシーズセミナー

「寿命の延伸に貢献する新しいお米の研究」

　　　　　　　開催案内

趣　旨

食物アレルギー患者数は、年々増加して、国内だけでなく世界中で大きな問題となっています。食物アレルギーの発症を防ぐため、これまではアレルゲンを特定し、それを食品から取り除くための研究が進みました。一方で、食品に含まれる多糖類、ビタミン類、脂肪酸、ミネラル、乳酸菌などの成分が、免疫の制御に有効であることがマウスを用いた動物実験などで示されています。

北海道のイネ品種「ゆきひかり」は、米アレルゲンを他の品種と同様に含むが、米アレルギーを引き起こしにくい品種として知られています。米アレルギー患者の食べていた品種を「ゆきひかり」に変更する臨床試験によると、患者の68.4％が「ゆきひかり」によって症状が緩和されました。「ゆきひかり」による米アレルギー患者への有効性の発現メカニズムについては、マウスを使った実験結果で腸内細菌叢を介する可能性も報告されていますが、まだ十分に解明されていません。

帯広畜産大学・加藤清明氏らのグループでは、「ゆきひかり」が米アレルギー患者に有効な理由を明らかにするとともに、その有効性を維持したまま、おいしさや、農薬の使用をより低減化できるなど最新の品種レベルまで改良することを目指して研究に着手しました。最近の研究では、「ゆきひかり」の何らかの成分が、免疫細胞に直接働きかけて炎症反応を抑制し、米アレルギーのみならず、他の多くのアレルギー疾患や肥満など、生活習慣病を含めた炎症性疾患に対して有効である可能性があり、それを示唆する実験データが集まり始めているところです。このように、北海道で開発されたイネ品種「ゆきひかり」の特性が注目され、重要な研究が進行しています。この研究は市民生活の質の向上や関連産業の活性化に貢献する可能性があるため、本セミナーで取り上げ、研究の背景や最新の研究情報について分かりやすくお伝えすることにします。

なお、本セミナーは農林水産省の実施する委託事業『「知」の集積による産学連携推進委託事業』の一環として実施するもので、グリーンテクノバンク・アグリシーズセミナー新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って運営されます。

日　時：令和3年10月27日（水）14：00～17：00

会　場：北農ビル１９階　第2，第3会議室

　　　　セミナー終了後、グリーンテクノバンクＨＰとYouTube上にセミナーの動画を配信予定

参加定員数：60名（参加申込みについては後記のとおり）

参加費：無料

主　催：農林水産省　農林水産技術会議事務局　研究推進課産学連携室

NPO法人グリーンテクノバンク

　　　　　　　　　　　　　　　　　　次　第

1. 主催者挨拶　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　14：00
2. 講　演　　「寿命の延伸に貢献する新しいお米の研究」

1）免疫制御米の研究とは　？

　　　　　加藤　清明氏（帯広畜産大学）　・・・・・・・・・・・・・　　14：05

　　　2）免疫制御のメカニズムと「ゆきひかり」の特異的機能

　　　　　安達　貴弘氏（東京医科歯科大学）　・・・・・・・・・・・・　　14：50

　　　3）食物アレルギーの予防・治療における腸管免疫機能の重要性と

　　　　　「ゆきひかり」への期待

　　　　　下条　直樹氏（千葉大学）　・・・・・・・・・・・・・・・・　　15：35

　　　4）総合討議　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　16：20

1. 閉会挨拶　　 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　16：50

参加申込みについて

受付期間：9月15日（水）～10月1１日（月）

申込み方法はグリーンテクノバンクHP,メルマガにてお知らせします。

定員に達し次第、受付は終了します。

お問い合わせ先

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10番地、ピア２・１

ＮＰＯ法人グリーンテクノバンク事務局

Tel & Fax; 011-210-4477 E-mail; gtbh@gtbh.jp